

[シトラスリボンプロジェクトをすすめる理由]

ウイルス感染拡大の阻止につながります。検査が必要と思われる方々が、躊躇なく安心して受けていただくことで、いち早く対策を打つことができます。また、感染が確認された方々への差別や偏見が拡がることによる弊害を防げます。感染者が出た・出ないということ自体より、「その後」に的確な対応ができるかどうかで、その地域のイメージが左右されると、私たちは考えます。「ただいま」「おかえり」って言いあえるまちはきっと、だれにとっても暮らしやすいまちであるはずで。"コロナ禍"の「その後」も視野に入れて、暮らしやすい地域をめざしませんか？

[賛同していただける方へ]

感染が確認された方々、私たちの暮らしを守り、支えてくれる方々（医療従事者・「エッセンシャルワーカー」の皆さまなど）が、それぞれの暮らしの場で「ただいま」「おかえり」と言いあえるまちでありますように。そんな想いを共有していただける方に、次にご紹介する方法で、あなたの住むまちにエールを送っていただけるとうれしいです。

- ① シトラスカラー＝柑橘をイメージした色のリボン・紐などを準備します。
リボンの色や材質はあなたの創意工夫で。
- ② その材料で「地域・家庭・職場（or 学校）など」を示す「三つの輪」をつくれれば、「シトラスリボン」のできあがり。結び方は「飾り結び」「小花結び」「アジアノット」「総角結び」などと呼ばれるものを参考にしてみてください。
- ③ この「シトラスリボン」を身に着けたり、おうちの玄関や郵便受けなどに掲示してみたりしてください。周りの方々へ「元気ですか？」「また会いましょう！」のことばとともに贈りあうのもよいかもしれません。
- ④ リボンの画像を SNS で発信することも、このプロジェクトが広まるきっかけになります。
#ただいま #おかえり #っていいあえるまちに
#citrusribbonfromehime #COVID19 # コロナに負けるな